

評価結果概要版



平成28年度

通所介護【デイサービス】

利用者調査とサービス項目を中心とした評価手法

法人名称	社会福祉法人アストリー
事業所名称	アンブル宝町デイサービスセンター
事業所所在地	東京都葛飾区宝町1丁目2番9号
事業所電話番号	03-5654-8882

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	1)法人は職員を大切に、職員はお客様をたいせつに 2)最高の満足を感じて頂けるサービスを常に提供する 3)社会から求められる法人を築く 4)安心して暮らせる街づくりを実現する

全体の評価講評

特に良いと思う点

・職員会議の内容が充実しており、会議を通して様々な業務の改善、情報の共有が図られています

事業所は、月1回職員会議を行っていますが、議題は、事業所の方針・組織体、評価、記録、行事、法人内他事業所との連携、業務改善等、新しく決めて行かなければならない事項も多いので多岐にわたっています。このため、会議は2時間程度費やして、職員の様々な意見を集約しながら進めており、ここで職員の意識を統一しながら業務の改善、情報の共有が図られています。これにより、事業所のアイデンティティも確立していくものと予想され、今後も継続して行われていくことが期待されます。

・毎月、行事食、選択食が計画されており、食を通して利用者が季節を感じたり、注文する喜びを持つことができます

食事は、法人の重点サービスの一つですが、法人内の給食委員会で、月1回、管理栄養士と各種専門職が情報共有、意見交換を行い、その結果が献立にも反映されています。そして、現在、月2回の行事食の機会がありますが、利用者が歳月や季節の移り変わりを楽しめるような献立となっており、好評です。また、月1回の選択食の機会は、主菜の選択となりますが、外出して食事をするのが困難になった利用者には、料理店で好きな料理を注文するような感覚にもなれる良い機会となっています。

・重点サービスの一つである機能訓練は、機器を使った訓練、体操、生活リハビリと充実しています

事業所には、エアマッサージ器やウォーターベッド等、最新の機能訓練設備があり、利用者は機能訓練士の指導の下に筋力訓練、立上がり訓練、歩行訓練等が個別に利用者の希望に沿って行われています。また、集団体操が1日2回行われていますが、帰りの時間前の音楽体操は、利用者が楽しみながら2曲行うこともあります。また、生活リハビリは、家庭生活に直結するように考えられて行われていますが、事業所は外出行事も生活リハビリの一環と考えており、外出行事を月1回行っているほか、利用者希望で週2回外出を楽しむ利用者もいます。

さらなる改善が望まれる点

・事業所業務の標準化を確実なものにするために各種手引書、マニュアルの整備が望まれます

事業所は、開所後約一年半を経過したばかりです。これまで、各種業務の標準化を進めてきた結果、各種業務の進め方に関するシステムとしての標準化自体はできあがっていましたが、それを、文書化して、手引書、マニュアルを作成するまでには至っていません。これでは、各職員が折に触れて自分で振り返って確認することができず、また、今後、新しい職員が入職してきた場合に、業務の習得に時間がかかることになるので、早急に手引書、マニュアルを整備することが望まれます。

・利用者に分かり易い活動計画表、献立表等を早急に配布できるようにすることが望まれます

毎月の献立表は作成し配布していますが、文字サイズが小さいために、読みにくいものとなっています。また、活動計画表は現時点では作成されていません。利用者にとって活動計画表や献立表は、日々の活動、食事の内容を事前に知ることができて通所に喜びを感じる材料となることも多く、通所の動機づけとなる重要なものであり、実際、利用者・家族からの配布要望が多いとのこと。この点からも、読みやすく分かり易い活動計画表、献立表等を早急に作成、配布することが望まれます。

・同一敷地内の他事業所と連携して地域との関係づくりを進めることが望まれます

事業所は、通所介護事業所単独での地域との交流、連携が積極的に行えていないと認識しています。一方、同一敷地内の特別養護老人ホームは、地域住民の「健康身体づくり」と「楽しい出会い」の実現を目指して、毎月、「アンブル活き活き交流会」を開催していますが、最近は多数の地域住民が参加するようになってきました。このような機会を利用して、通所介護事業についても紹介し、見学、行事への招待、ボランティアの募集等を行って、地域との関係づくりを進めることが望まれます。

事業者が特に力を入れている取り組み

・朝のミーティングや共有ノートを通して職員間の情報共有に漏れのないようにしています

新しい職員も多いことから、今後も継続して全般的な情報共有を推進していくことが必要です。中でも利用者の状況等については、利用者の状況変化に応じた支援を行っていくためにも情報共有を徹底することが重要です。このため、事業所は毎朝のミーティングで利用者の状況確認をするとともに、共有ノートに利用者状況の小さな変化も記入して、情報共有を図っています。また、情報共有を確実にするために、共有ノートには必ず読んだ職員が確認印を押すことを義務付けて、漏れがないようにしています。

・利用者が送迎で長時間車内にあることがないように送迎スケジュールを見直しています

長い送迎時間は利用者負担が大きいので、朝の事業所到着時、夕方の帰宅時に、送迎のために利用者が疲れてしまうということになりかねません。このため、事業所は、車で30分で迎えに行ける範囲を前提として契約に臨んでいます。また、実際の送迎の場面では、送迎ルートによっては送迎時間が長くなることもあるうえ、利用者の出欠状況によりルートを変更する必要があるため、毎日、送迎ルートの見直しを行っています。今後はさらに送迎時間を短縮するために、現在の1便体制をこの2月から2便体制にすることを計画しています。

利用者調査結果

有効回答者数/利用者総数

12/37

はい どちらともいえない いいえ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	75.0%	16.0%	8.0%	いはいえ：0.0%
2. 食事の献立や食事介助は満足か	91.0%	8.0%	いはいえ：0.0%	無回答・非該当：0.0%
3. 利用者が必要と感じた介助が提供されているか	100.0%	どちらともいえない：0.0%	いはいえ：0.0%	無回答・非該当：0.0%
4. 利用中の楽しみな行事や活動があるか	50.0%	41.0%	8.0%	無回答・非該当：0.0%
5. 個別プランに基づいた事業所の活動・リハビリは、家での生活に役立つか	58.0%	25.0%	8.0%	8.0%
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	100.0%	どちらともいえない：0.0%	いはいえ：0.0%	無回答・非該当：0.0%
7. 職員の接遇・態度は適切か	83.0%	8.0%	8.0%	無回答・非該当：0.0%
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	75.0%	16.0%	8.0%	いはいえ：0.0%
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	50.0%	33.0%	16.0%	いはいえ：0.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	100.0%	どちらともいえない：0.0%	いはいえ：0.0%	無回答・非該当：0.0%
11. 利用者のプライバシーは守られているか	91.0%	8.0%	いはいえ：0.0%	無回答・非該当：0.0%
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	100.0%	どちらともいえない：0.0%	いはいえ：0.0%	無回答・非該当：0.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	83.0%	8.0%	8.0%	いはいえ：0.0%
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	75.0%	16.0%	8.0%	いはいえ：0.0%
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	41.0%	16.0%	8.0%	33.0%